

非核平和都市宣言

平和—それは全人類共通の願いです。

私たちは、戦争の悲惨さ、残酷さを決して忘れてはなりません。

しかし、世界各国では今なお武力紛争が絶えず、軍拡競争は恐るべき核兵器を次々と生み出してきました。

たび重なる核実験による環境破壊は地球的規模に達し、さらに核開発は宇宙空間にまで及ぼうとしています。

今や核戦争を防止し、すべての核兵器を廃絶することは、人類の存亡にかかわる最も緊急で重要な課題です。

ここに三田市は、核兵器の廃絶と軍縮を全世界に訴えるとともに、世界平和実現に向かって不断の努力を続ける非核平和都市であることを宣言します。

平成元年 3 月 28 日
三田市



平和の鐘

作品名: **平和への希求** (Transfiguration-ENGAGE-)

製 作: 竹内三雄さん

このモニュメントは、市総合福祉保健センター(平成 8 年竣工)が戦後 50 年記念事業として建設されるのを機に、戦後 50 年の貴重な体験から、未来を創る子どもたちに、戦争のない社会、世代や地域、国を越えてともに支え合う社会を築くことを願い、そのシンボルとして、広く市民の皆様の募金により市総合福祉保健センターに設置されました。人と人との豊かにつながりと人間と自然との共生をテーマにこのモニュメントはつくられています。

この「平和の鐘」は、三田ユネスコ協会創立 50 周年を記念して「世界の平和と人類の幸せを永遠のものにする」の理念に基づき、建設が進められました。そして、市民や協会員など多くのみなさまの募金によって、平成 25 年 12 月、三田市総合文化センター(郷の音ホール)東側の芝生広場に完成しました。

このモニュメントは、互いの考えや存在を認め合い、戦争や紛争などの連鎖を断ち切るためにも、一人ひとりの心の中に平和の砦を築いていくことの大切さを、私たちに訴えています。

「平和の鐘」が響かせる美しい音色に、私たちの平和への思いを乗せていきたいものです。